

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」富塚校		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	67名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教員経験のある指導員が複数配置されており、就学や学校でのトラブルに対して相談に乗ることができる。	保護者へのフィードバック時に最近の困りごとについて聞き、相談事を抱えている様子であれば別途相談時間を設けられることを伝えている。	事業所内相談の存在についてより多くの保護者に知ってもらえるようLINEやブログを通じて周知していく。
2	個別支援であるため児の特性や保護者の要望に合わせてその都度支援を考え、提供している。	契約前の体験時に、児の特性や保護者の要望を丁寧に確認している。	年齢が上がるに応じて特性は変化していくため、支援で変化してきたことや成長した部分を指導員同士で共有し、支援内容を考えていく。
3	担当制ではないため支援内容が固定化せず、様々な視点からの支援を提供できる。	担当児童を決める際に指導員同士で話し合い、連続して担当することがないように、どの指導員とも関わることができるように調整している。	支援内容について、他専門職の意見を聞ける場を設け、更に充実した支援を提供できるよう努力していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援のためSSTを行う場合、指導員対子どもとの間ではできていても、子ども同士でのSSTが実践できる態勢ができていない。	同じ時間帯に、SSTを必要とする利用児が集まりにくい。	保護者の理解を得て、月に1度程度の頻度でSSTの時間を設定していったり、親に見学したりしてもらう。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
こどもサポート教室「きらり」富塚校		2025年 2月 15日				67名		30名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	7	1	0	室内でのワークシートやアナログゲームなどの活動が目的の場合、十分なスペースだと考えます。	今後も活動に合わせたスペースの確保に努めていきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	0	0	0	・どの先生に当たるか毎回楽しみにしています ・おむね常に希望に合った指導員の先生を配置していただき、感謝しております	今後もよりよい教室運営に尽力して参ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	6	0	0	・どこに何があるのか子どもが片付ける際自ら行っているのだからやすいと思います ・絵や、大きく簡単に表示された言葉がどんな子にもわかりやすいと感じました。玄関はスロープ状で、利用しやすいと感じています。	子ども達が安心して通えるよう、注意が必要な場所にはわかりやすい貼り紙を貼り、注意喚起を促していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	3	0	0	適度な清潔感があり、備品も整頓されていると思います。子ども達の活動に合わせた工夫があります。	清潔感を保てるように、日々の清掃に気を配っていきます。	
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	0	0	1	・病院の先生に言われたことを報告するとそれにすぐに対応してくれる ・親の焦燥感のせいとは思いますが、専門性の高い別支援的活動の頻度はやや少なく感じます。しかし、計画に合わせて課題を設定し、活動してくださっています。	子どもや保護者の困り感に対する支援を提供できるよう、引き続きご意見を踏まえながら支援を考えていきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	0	0	1	支援プログラムの内容に沿ったワークシートを一定の頻度で取り入れてくださっていると思います	引き続き支援プログラムに沿った支援を考えていきます。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	1	0	0	子と保護者からのヒアリングが適切に反映された個別支援計画だと感じています。	今後も課題を踏まえ、子ども達一人一人に合う個別支援計画を作成していきます。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	0	0	1	子と保護者からのヒアリングの内容が適切に分類され、具体的な支援内容に落とし込まれていると思います。	ガイドラインに沿った支援内容の設定を徹底していきます。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	1	0	0	毎回の保護者への活動報告の際にそのように感じています。	今後もよりよい支援を提供できるよう努めていきます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	1	2	1	・必要ないと思うから今のままでよい ・苦手な所をピンポイントにプリントなどで活動させてもらっています ・様々なツールを用いて、支援計画や子の興味に合わせつつも、固定化しない内容で活動しています。	・今後も職員が交代することで、様々な視点から活動が展開できるようにしていきます。 ・成長での困り感やニーズに合わせて課題内容を変更し、様々なアプローチをしていきます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	5	10	7	子の特性上、他団体の子との交流は支援計画でも実情でも行っておりません		
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0	丁寧に説明をいただきました。			
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	0	0	0	お忙しい中、順を追って説明していただきました。	・説明する中で保護者の意見も取り入れていきます。		
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	4	0	2	現時点では実際に利用はしていませんが、そうした機会の通知はいただいています			
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	29	1	0	0	・親身に話を聞いて下さったり、丁寧に様子を教えて下さるのでありがたいです。 ・毎回の活動報告を通じて綿密に情報共有していると思います。	・これからも支援で気づいたことや気になったことについて分かりやすく、伝えていきます。また、家庭や学校での出来事にも触れ、情報の共有が支援に生きるようにします。		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	2	1	3	現時点で面談や子育て相談は利用していませんが、そうしたサービスがあることはお伝えいただいています。	・事業所内においては、保護者様の要望やお子さんのニーズに応じて心理師等の専門職がよりよい支援やに努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	0	0	0	保護者からの話にも親身になって耳を傾けてくださり、子の良いところを活動中に見つけていただいて、指導員の先生方には感謝いたしております	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	7	1	5	・いつも行けずにすみません ・必要でないため参加していない やっているかも、関心がないのでスルーしている ・家族への支援には現時点で未加入ですが、そうした機会があることはお伝えいただいています。きょうだいへの支援については詳しく知りません。	・保護者会や講演会を通じて保護者同士の交流の場や情報の提供に努めています。 ・兄弟向けの交流や支援は要望に応じて対応していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	1	0	2	相談の機会やその手続きが整備されており、周知もしていただいています。現時点で未利用なので、対応の様子はわかりません。	・今後も必要に応じて個別相談の時間を設け、保護者からの困り感や悩みの相談に応じていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	1	0	1	毎回の活動報告の会話や、電話・LINEでの対応など、いろいろ配慮いただいています。	引き続き保護者の皆様との共通理解を図っていききたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	2	0	2	頻りにLINEで種々の通知がいただけて、情報共有に役立っています。	引き続きブログやLINE等のSNSで事業所に関する情報を発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	1	0	0	日々やりとりさせていただく中で、個人情報の取り扱いについて詳しく把握することができませんが、信頼しています。	今後も、厳重に個人情報の管理をしていきたいと思っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	1	0	1	丁寧な説明をいただきました。また、抜き打ちで防災訓練をすると聞いて、感心しました。	緊急対応マニュアルを周知していきたいと思っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	0	0	1	・写真で見ただけであるので、行われていると言いきれませんが ・定期的に行っていることをうかがい、知れる掲示物を見たことがあります。	年間計画に従い毎月の訓練を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	0	0	3	通所手続きの際、口頭説明と書類をいただきました。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	0	0	2	・事故や怪我をしたことがないので説明されていないが、定時間に行かなかったり、帰り一人での対応時等細かく電話くれているので説明はすると思われる ・通所手続きの際、口頭説明と書類をいただきました。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	0	0	0	子は通所時のことをよく話してくれたり、工作物を家でも使ったりして、楽しそうにしています。	引き続き子どもたちが安心して過ごせる環境を整えていきたいと思っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	1	0	1	・大好きな自分の居場所になっています。いつもありがとうございます！！ ・週一回なので、数としては申し訳ないが本人が行きたいというので楽しんでいます ・本人の体調や気力により変化しますが、「習い事として行く」という中立的な気分のようなようです。	子ども達が楽しく通えるような支援を考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	1	0	0	いつも本当にありがとうございます。	子ども達が楽しく通えるような支援を考えていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」富塚校		公表日		2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	場所を広く使いたい時には椅子や机を動かしてスペースを確保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	有資格者を配置している	時間帯によって受け入れ人数が偏らないようにする
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	・バリアフリーではないため段差については声掛けや貼り紙で注意を促している ・バリアフリーではないが、段差等危険な場所の声掛けをしている	視覚的に注意を促す掲示をする
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・朝掃除の時間を確保している ・臨機応変に机やパーティションを移動させて活動に合わせた空間づくりをしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・個室がないのでパニックになった児童のクールダウン時に困ることがある ・パーティションを動かし、周囲を囲うことができる	支援室が個室ではないため場所を区切ったり距離をとったりして対応する
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	事業所目標を職員同士で話し合い、設定している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	意見箱を設置している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	朝礼など話し合う時間を設け、より良い教室運営について話し合っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	・第三者評価の設置なし ・今年度は市の運営指導はなかったが、定期的に内部監査を行い業務改善につなげている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	法定研修以外にも市内の外部研修も充実している	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	目標達成に向けて子どもに合わせた支援の組み立てを行っています	今後、支援プログラムを公表する予定
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	朝の申し送りを通じて保護者のニーズや子どもの課題を明確にしている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児発管と指導員が話し合い、子供にとって必要な支援は何かを考え、支援計画を作成している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	支援計画をいつでも閲覧できるようにし、適切な支援ができるようにしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	保護者からの聞き取りや支援記録を基にしたアセスメントを行っている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	職員間で情報を共有し、情報を基にプログラムを作成している	専門職の職員を中心として話し合う時間を多く取るようにする

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	担当児童を固定するのではなく、職員が交代して支援している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	集団イベントを企画し、他児と触れ合える機会を作っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	・朝礼にて申し送りを行い情報共有を行っている ・9時からの支援がある日は打合せの時間がとれないため社内ツールを使って情報共有をおこなっている	朝9時からの支援が続く日は、リーダーが中心となって指示や伝達を行う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・緊急性のあることはその日のうちに共有するが基本は翌日の朝礼でも申し送りを行う ・継続していきたい活動があれば次回の担当職員に引継ぎをしている	リーダーが中心となって指示や伝達を行う
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	細かく記録を記入している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングを実施し、見直しが必要な場合は新たな課題設定を行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	その日の子どもの気分に合わせて支援を提供している	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	主に児発管が参加している	経験年数によるが指導員にも同席してもらう
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・協力医としてひろせクリニックさんに依頼している ・他関係機関とは必要に応じて連携を行います	経験年数によるが指導員にも担当してもらう
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	・保護者を通して学校行事の確認をしています ・保護者や児童から学校での様子を聞いている	学校と直接連絡を取ることはないが必要に応じて情報共有を行う
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・必要に応じて情報の共有を行っています ・サポートかけはしシートを作成し、学校訪問している	情報提供後、学校からのフィードバックをいただけるよう継続して連携体制をとっていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	必要に応じて相談支援事業所の担当さんに情報提供をしています	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	児発管が浜松市の放課後支援連絡会で交流を図ったり研修や事例検討会に出席したりすることで助言いただいている	他事業所やセンターと顔を合わせる機会には職員が交代で参加できるようにしていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	保護者からの要望があれば検討していく	近隣の事業所との交流を検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	児発管が主に参加	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	活動時の様子を丁寧にフィードバックするだけでなく、家庭や学校での様子を共有していただいている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・親子参加型のイベント ・希望があれば個別面談を実施している	保護者の要望によって研修や勉強会を企画していく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	送迎時、支援についての要望など確認させていただいている	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	必要に応じて個別相談の時間を設け、助言している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	今年度はまだ開催していない 年明け開催の予定	・開催時期を固定する ・座談会を計画する
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		苦情をいただくことのないよう日頃からこどもや保護者様とコミュニケーションをとり環境整備を心がける
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・毎月ブログを更新して、情報発信している ・LINEやインスタグラム等SNSを活用し情報発信を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報記載されているファイルは鍵付きロッカーで保管している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	口頭だけでなくLINEを使って情報発信している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		地域の方々を招待する企画はないが、見学や体験、お問い合わせはいつでも対応可能
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	月に一度防災訓練を実施し、避難するルート等を確認している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	毎月、災害の想定を変えて防災訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・基本情報シートに記入してもらい確認している ・体験時に保護者に確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	基本情報として把握しているが飲食の提供はしていません	アセスメントシートや基本情報シートの周知徹底を図る
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	毎朝の清掃時に環境整備も合わせて行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時書面で説明を行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットを作成した時には職員全員が確認し、押印し、再発防止に心がけている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	社内部、外部の研修に必ず参加している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	契約時と個別支援計画提示の際、説明を行います		